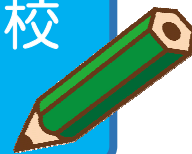


仙台市立富沢中学校・名取市立増田中学校 生徒の職場体験学習を実施しました



宮城第一信用金庫では、仙台市立富沢中学校、名取市立増田中学校からのご依頼により、令和1年10月から11月にかけて当金庫の各支店に生徒さんをお招きし、職場体験学習とマネースクールを開催致しました。この企画は、両校の2年生を対象とした民間企業等による「社会体験学習」の一環として実施されているものです。当金庫としては、今年で富沢中学校が10年目、増田中学校が4年目の受け入れとなりました。



【富沢中学校 学習の様子】



信用金庫の概要や取り組み、貨幣の歴史等の金融に関する講義のあとは、職員と同行でのポスティングローラー活動、出納機の操作、お札の数え方等を体験いただきました。両校の生徒さんに1億円（1万円札1万枚、重さ約10kg）を持ってその重さを実感していただきました。

生徒さんから「信用金庫についてやお金についてよく知ることができた」「信用金庫は金関係だけではなく、震災のことや他の人との関係の大事さ等を学べて有意義で貴重な時間だった」「何事も誠実にするのが大切ということ意識したい」「1億円にとっても感動しました。金銭感覚がおかしくなりそうです」「身近なお金の使い方について、改めて考える機会があって良かった」等の社会体験学習の感想を伺いました。

講師となった職員より、今回受講された生徒さんは明るく元気で、講話や体験学習を真面目で積極的に受けており、手応えを感じておりました。

生徒の皆さん大変お疲れさまでした。今回の社会体験学習が、受講された生徒さんのお役に立たたことを役職員一同、とても嬉しく思います。

なお、当金庫では、このような学校の職場体験学習への協力のほか、様々な地域貢献活動を推進しております。



【増田中学校 学習の様子】